

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2024-40 浅大腿動脈用薬剤溶出性ステントの再狭窄症例におけるその形態および治療成績についての多施設後ろ向き観察研究
当院の実施責任者研究 及び職名	静岡赤十字病院 血管外科 部長 新谷 恒弘
研究代表（責任）者	札幌医科大学 心臓血管外科 講師 柴田 豪
他の研究機関および 各施設の研究責任者	下記※参照
研究期間（西暦）	当院倫理委員会承認後～2027年3月31日まで、症例の調査を実施し、その後、解析や論文発表の準備などを実施します。
対象期間（西暦）	2015年1月1日から2022年7月31日までに末梢動脈疾患の大腿膝窩動脈病変に対し、浅大腿動脈用薬剤溶出性ステントを留置し、再狭窄が生じた患者さん
研究の目的	薬剤溶出性ステントに関して様々な研究が行われていますが、どのような再狭窄の形が生じるのか、再狭窄した場合の再治療の成績はどうかについて調べた研究はありません。そこで、今回我々は薬剤溶出性ステント留置後再狭窄が生じた症例の形態を評価し、更に治療した症例ではその成績を比較したいと考えております。本研究の結果によって実臨床での薬剤溶出性ステント選択の判断材料としての意義があると考えます。
研究の内容	過去の診療録等による既存資料に基づいて研究対象患者の術後データを収集解析します。 診療録から採取するデータの項目は次のとおりです。 術前または治療開始前の状態、基礎疾患、手術内容、術後経過、検査データ、画像データの記録
個人情報の取扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際は、研究対象者の個人情報とは関係のない研究対象者コードを付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（誰の情報かわからないように加工されたデータ）として使用します。 対応表（研究対象者と研究のために付与した番号を照合できるようにしたもの）は、各施設の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。研究の中止または研究終了後、研究完了（中止）報告書を提出した日から1年が経過した日に完全に抹消します。

	この研究に使用した情報は、研究の中止または終了後、研究完了（中止）報告書を提出した日から5年が経過した日までの間、札幌医科大学心臓血管外科学講座内の施錠可能な場所で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピュータに保持します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。 なお、この研究に使用した情報を将来の別の研究に利用する可能性はありません。
問い合わせ先 (拒否等受付口)	【研究担当者】 所属：静岡赤十字病院 血管外科 氏名：医師 新谷 恒弘 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311（代）

※他の研究機関および各施設の研究責任者

研究機関名	役割	研究責任者・各地区管理責任者 (氏名・所属・職位)
札幌医科大学	症例登録・解析	柴田豪・心臓血管外科・講師
東京都済生会中央病院	症例登録	藤村直樹・血管外科・医長
奈良県立医科大学	症例登録	市橋成夫・放射線診断 IVR 学・講師
名古屋大学	症例登録	坂野比呂志・血管外科・教授
鳥取大学医学部附属病院	症例登録	遠藤雅之・放射線科・助教
東海大学医学部付属八王子病院	症例登録	小川普久・画像診断科・准教授
愛知医科大学	症例登録	児玉章朗・血管外科・教授
市立函館病院	症例登録	新垣正美・心臓血管外科・主任科長
住友病院	症例登録	永富暁・放射線診断科・副医長
松山赤十字病院	症例登録	山岡輝年・血管外科・部長
総合病院土浦協同病院	症例登録	内山英俊・血管外科・部長
済生会唐津病院	症例登録	久良木亮一・外科・医長
JA 広島総合病院	症例登録	小林平・心臓血管外科・主任部長
九州大学病院	症例登録	森崎浩一・血管外科・講師
九州医療センター	症例登録	古山正・血管外科・医長
慶應義塾大学	症例登録	尾原秀明・外科・准教授
東京医療センター	症例登録	関本康人・外科・医員
静岡赤十字病院	症例登録	新谷恒弘・血管外科・部長
国立病院機構金沢医療センター	症例登録	笠島史成・心臓血管外科・部長
総合南東北病院	症例登録	植野恭平・心臓血管外科・医長
イムス東京葛飾総合病院	症例登録	市野瀬剛・血管外科・医長
西宮渡辺心臓脳・血管センター	症例登録	畑田充俊・血管外科・部長